

学校 教育 目標	人・自然・まちとふれあいながら、自分を高める中川の子 ○いろいろなことに興味をもち、課題解決に向けて、ねばり強くやりとげる力を育てます。【知】 ○他者を思いやり、善悪の判断がきちんとできる態度を育てます。【徳】 ○生命を尊び、健やかな体をつくる態度を育てます。【体】 ○社会の一員として、自分の役わりをすすんで果たすことができる力を育てます。【公】 ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる態度を育てます。【開】				
	学校 概要	創立 147 周年	学校長 二瓶 庄吾	副校長 高橋 哲雄	2 学期制
		児童生徒数: 735 人	主な関係校: 中川中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○主体的に考え、学び続ける力 ○豊かな人間関係を築くための伝え合う力 ○社会の変化に柔軟に対応する力	中川中学校 中川小学校 南山田小学校 牛久保小学校	自分も他者も大切にしながら、豊かな学び合いができる子 ・3小中学校で目指している資質能力が、どのように中学校につながっているのか、具体的な子どもの姿で語ることができる。 ・9年間でめざす子どもの姿や身につけさせたい資質・能力の捉え直しをする。 ・特別支援教育、児童生徒理解力の向上 ・GIGAスクールの進め方についての情報交換

<b>中期 取組 目標</b>	○学校教育目標を具現化し、実現するために、教職員が一丸となって、まちとともに歩み続ける学校づくりを目指します。 ・一人ひとりの子どもが、学ぶ喜びと学び合う喜びを実感できるような授業づくりを推進し、学力の向上と共に問題解決能力の育成を図る。 ・一人ひとりの子どもに安心、安全な空間を提供し、自尊心と自己有用感を高める学校生活を過ごせるようにする。 ・家庭やまち、さらに幼保まで含めた小中一貫教育推進ブロック等と連携し、それぞれが信頼で結ばれた学校づくりを進める。・教職員の連携・啓発を自ら図っていく活気あふれた学校運営組織を確立する。
-------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きて はたらく 知</b> 担当 教務・学習評価部	①比較する、分類する、関連付けるなど、思考・判断する活動を教育課程に位置付け、自分の考えを深める授業を行う。②説明、報告、記録、対話、討論などの言語活動を授業に取り入れ、豊かなコミュニケーション能力の育成を図る。
<b>豊かな心</b> 担当 人権・道徳・特活部	① 中川中学校と連携を図りながら、目標「なかよく かかわりあって たがいに わかりあう」をめざして、地域・社会とともに生きる子どもを育成していく。② 道徳の時間を要とし、道徳教育の充実に努める。③ たてわり活動など異学年活動を充実させる。④教職員の人権意識を高めるために研修を行う。
<b>健やかな体</b> 担当 体育 保健部	① 自己の健康・保持・増進のために、主体的に課題解決できる子どもの育成を目指し、体育科を中心とした健康に関する教科等の授業改善を図る。② 新体カテストの結果や学校保健委員会の取組等を保護者と共有するなど、家庭と連携した体力の向上、生活習慣の改善を図る。
<b>自分づくり教育 (キャリア教育)</b> 担当 教務部	①出前授業のゲストティーチャーやPTA・地域の様々な人との出会いや体験的活動を通して、様々な考え方や生き方を知り、一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。②学年に応じて、地域や企業が関わる学習活動を年間計画に位置付け、学ぶことや働くことの意義を考えられる場を設定する。
<b>地域連携</b> 担当 教務 小中一貫 幼保小 情報部	①地域との連携による豊かな教育活動を行っていく。また、スマイル発信隊(地域コーディネーター)を活用する。②幼保小中連携を、年間通して計画的に行う。今年度は、小中連携の授業公開をし、連携を深める。③学校便りやWEBページを活用して、学校の「今」を発信し、学校理解を促す。
<b>特別支援教育</b> 担当 児童支援部	①児童の多様な特性についての理解研修を通して、子どもの特性や状況を的確に捉えて適切な指導を行う資質と能力を高める。②一人ひとりの児童のよさや課題、児童対応の経緯等について、関係者の情報共有を進め、細やかな指導が行えるようにする。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導部	①「学校のきまり」に沿って生活できるように、全職員で共通理解を図り、一貫した指導を行う。②児童の個性や特性を理解しながら指導にあたるために、研修を行ったり、職員会議等で情報を共有したりする。③よりよいあいさつの仕方を身につけられるよう、学校生活全般で指導する。
<b>#REF!</b> 担当	c8
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①全職員が児童を多面的に見取り、特性や心理を共通理解する。②定期的にアンケート等を実施し、児童の心の状況を把握し、不安や問題を早期に解決する。③全教育活動を通して、適切な人間関係を作ることのできる資質・能力を育てる。
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務部	①2年目となる新学習指導要領を確実に理解できるよう研修を設定し、資質能力の向上を図る。②教職員が協働することの大切さを自覚できるよう、日常のコミュニケーションがとりやすい雰囲気醸成する。また、「報告・連絡・相談」を徹底し、組織力の向上に努める。③教職員の時間外勤務是正のために、会議等の精選、改善を行う。